

いわき市に医学部&大学病院を誘致しよう！

臨時総会

いわき市に医学部を誘致する会

会長 高野 達也
顧問 志賀 由直

当会は、「東北地方において1校に限り医学部新設を認可する」という昨年11月29日の文科省発表、および12月17日の3省庁合意（復興庁・文部科学省・厚生労働省）の医学部設置認可に関する基本方針を受けて、今年2月に設立いたしました。

この東北地方への医学部新設の目的は、下記になっています。

- ① 震災からの復興
- ② 今後の超高齢化と東北地方における医師不足解消（卒業生が東北に残る方策をとる）
- ③ 原子力事故からの再生

国の進め方は、設置を希望する学校法人・地方自治体等から、今年5月まで新設構想を受け付け、6月に1校の構想を採択するとなっています。

ただし、これは来春27年4月開学の最短スケジュールの例であり、「構想公募の期限、認可申請及び開学時期は、大学、自治体等（＝いわき市）の準備状況を踏まえて弾力的に対応」との注記があります。

医学部ができることは、臨床研究のため最先端の大学病院ができるということです。

また、教員や医師は、その地域から引き抜かず広く全国から公募する、と留意点が示されており、いわき市の現医療体制に支障を来たさず、さらにプラスの相乗効果となります。

この千載一遇のチャンスに “いわき市は先ず手を挙げるべき” と強く思い、2月28日に、「いわき市へ医学部誘致に関する請願書」を、いわき市議会へ提出いたしました。

3月5日、この請願が「市民福祉常任委員会」に付託され、4対3（棄権1）の僅差で、可決されました。

委員長	志帥会	大峯英之（議長）		
（敬称略）	委員	志帥会	菅波 健 ×	山守章二×
賛成○		公明党	柴野 美佳×	
反対×		共産党	高橋 明子△	
棄権△		創世会	福嶋あずさ○	上壁 充○
		新政会	小野 邦弘○	
		正堂会	蛭田 克 ○	

3月12日の本会議、この請願が全市議37名で採決されますが、微妙な状況です。会派で統一した票を投じるため、3月5日の常任委員会の結果、下記が予想されます。

最大会派「志帥会12名」と「公明党4名」が反対 「共産党4名」が棄権

3月1日に宮城県で、東北福祉大と仙台厚生病院の新設構想が発表されました。いわき市が、このまま手を挙げなければ、そのまま宮城県等に決まってしまう。

スピード感をもって、先ず手を挙げれば、いわき市は医学部誘致戦の土俵に残ることができます。そして、国の弾力的対応によりできた時間（構想受付期限を遅らす）で、例えば東京有名私立大学としっかりと構想を固め、土俵で逆転することも可能です。

この請願が市議会で可決されれば、「いわき医学部」誕生が現実近づきます！

いわき医学部は、大学病院のない福島県浜通り全域および茨城県北部までカバーする、震災復興のオンリーワンの拠点となるでしょう。

安全安心そして光輝く未来のために、いわき医学部誘致を、よろしく願いいたします。

記

日 時	平成26年3月9日（日） 午後1時30分より
会 場	いわき産業創造館 会議室（ラトブ6階） 入場無料
出席議員	磯上佐太彦先生 赤津一夫先生 吉田実貴人先生
問合わせ	高野達也：(株)三國屋代表取締役 080-2826-3599
顧 問	志賀由直：元県立高等学校長

3月9日総会決議（出席者34名 委任状17名）

- 1、 医学部および大学病院の東北地方への新設場所は、その認可目的、その場所の現状から、原子力最前線のいわき市がオンリーワンの候補地である。
- 2、 市長は、「医職住」を掲げ、医療問題を喫緊の課題として当選された。国が認めた東北地方への医学部1校新設について、千載一遇のチャンスととらえ、いわき市への医学部と大学病院誘致を、必ず成し遂げてほしい。
- 3、 市議会は、いわき市への医学部誘致に関する請願について、新設構想の受付締切は5月なので、スピード感をもって取り組んでほしい。
市民の命は最優先の問題なので、党派・会派を超えて、いわきの安全安心そして光輝く未来のため、医学部誘致の議決をしてほしい。